保護者の皆様へ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　白山市立鳥越小学校

平成28年度　「教育活動についてのアンケート　(7月実施)」結果と今後の取り組みについて

新涼の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、7月に実施しました「教育活動についてのアンケート」の際にはご協力ありがとうございました。その結果と分析をお知らせいたします。

本校の教育目標である『やさしく思いやりにあふれ、自他の健康安全を心がけ、確かに学ぶ子を育てる』の実現に向けて、本年度の重点目標を次のように設定し、1学期、取り組んでまいりました。

1，信頼される学校運営

2，学力の向上（自らが主体となり確かに学ぶ子の育成）

3，向上心の育成（向上心にあふれる子の育成）

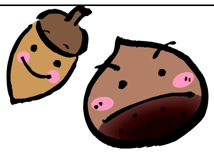
4，健康体力の増進（健康と体力の増進を心がける子の育成）

5，開かれた学校づくり

以下、それぞれの項目についてのアンケート結果と分析です。

1，信頼される学校運営について（記載の%は「A:よくあてはまる」と「B:あてはまる」の合計です）

① 学校は楽しいですか。(児童)93%
子どもは学校に行くのが楽しいといっている。(保護者)93%
児童は明るく元気に登校している。(教師)100%



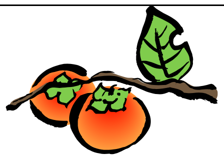
アンケートからも児童の様子からも、児童は、概ね明るく元気に過ごしているようです。しかし、学校が楽しくないと答えた児童もおり、児童一人一人の「困り感」に寄り添い、自分が認められている。大切にされていると実感できるよう学校全体で取り組んでいきます。

②困ったことがあったら、先生に相談できますか。(児童)67%
学校は子どもさんのことで悩んでいるとき、相談にのってくれる。(保護者)90%

昨年度に比べやや改善したものの、「先生に相談できますか」の項目では、児童の回答が大変低い数値になっています。担任だけでなく、級外・養護教諭・司書・管理職など様々な立場から子どもたちに関わっていくことで、児童の思いを受け止めていきたいと思います。また、子どもたちが気楽に相談できるよう相談室を活用できないか考えていきます。

保護者の皆様にお子さんの事がきちんと伝わらずご迷惑をかけたことがありました。職員一同、改めてお子さんの健全な成長のため保護者の方々と連絡を密にとっていきます。

③授業は、わかりやすいですか。(児童)88%
お子さんは、授業が分かっているようだ。(保護者)92%
分かりやすい授業を工夫している。(教師)100%



授業理解については、昨年度に比べ、授業が分かりやすいと答えた児童の割合が減っています。１時間の学習で何がわかれば（できれば）よいのかゴールの見通しを持たせて授業を進めていけるようにします。また、学習したことが授業の最後にすっきりわかるような板書を心がけていきます。

２，学力の向上について

④宿題を忘れずにしていますか。家庭学習のてびきに書いてある時間家庭学習をしていますか。(児童)93%、
お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。(保護者)81%
家庭学習の習慣化を進めるため家庭学習のてびきを活用し働きかけている。(教師)100%
ご家庭では配布した家庭学習のてびきを基にお子さんに声かけをしている。(保護者)71%

家庭学習のてびきを取り入れたことで、児童・保護者・教師ともに、昨年度に比べ、家庭学習に対する意識の高まりが見られます。さらに、「いつ」「どんなことを」家庭学習でするのかてびきにそって重点化して取り組むよう働きかけていきます。また、保護者の方には改めて「てびき」の内容・目的について周知を図り、家庭と連携して取り組んでいきます。

３，向上心の育成について

⑤友達にやさしくしていますか。友達に対して思いやりの心で行動していますか。(児童)94%
お子さんは思いやりの心で行動している。(保護者)93%
道徳の授業を要とした道徳教育の推進で児童に思いやりの心が育っている。(教師)91%

今年度は、自己有用感の醸成から、自己肯定感を高めることを意識して「いいところみつけ」「みるみる週間」などの取り組みをすすめてきたことが、高いレベルの評価につながってきていると言えます。今後も継続的に取り組みを進めていくとともに、道徳の授業をはじめ取り組みの振り返りや児童の変容について、学校だより、学年だよりで積極的に発信していきます。

⑥だれに対しても自分から挨拶をしていますか。(児童)94% お子さんは、家庭・地域の人に自分から挨拶をしている。(保護者)85% あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。(教師) 100%
児童会の運営委員会が呼びかけたあいさつ運動など子どもたち自身から発信したことが効果があったようで、あいさつに対する意識が向上し、自然な明るいあいさつがとても増えました。今後も児童会の運営委員会主体となった取り組みを継続します。特別なあいさつ運動だけでなく、日常の玄関前のあいさつについても高学年を中心に輪を広げていく工夫をしていきたいと思います。

４，健康体力の増進について

⑦体育の時間や他の時間に体をよく動かしていますか。(児童)97% お子さんは、遊んだりスポーツをしたりして日ごろから体を動かしている。(保護者)90% 体育の時間や他の時間の工夫で一人一人に体力がついてきている。(教師)100%
学校では、休憩時間を利用して良く体を動かしているが、家庭では運動する子、しない子の二極化が進んでいるのか保護者の評価はやや低くなっています。日頃あまり体を動かしていない児童をターゲットに、体育館２階の体力づくりコーナーなど仕掛けをしていきます。

⑧早寝･早起きなど規則正しい生活をしていますか。(児童)85% お子さんは、規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）を送っている。(保護者)87% 毎日の健康観察や清潔検査などにきちんと取り組ませている。(教師)100%
保護者の方々の意識は、昨年度から74%→78%→87%と高まっていますが、児童の15%が規則正しい生活を送っていないと感じています。学校では、発育測定等の機会を利用したり学習習慣と連動した生活リズムチェックをしたりすることで、規則正しい生活が送れるよう働きかけをしていきます。 また、就寝時間や睡眠時間、ゲームやネット環境など、家庭との連携は不可欠です。１１月の教育ウイークにはネット依存、危険性についての親子での学習会を予定しています。

⑨好き嫌いしないで何でも食べていますか。(児童)94% 給食を時間通り、残さず食べるように意識して指導している。(教師)92%
児童の評価は昨年度と比べても85%→89%→94%と大きく改善されています。今年は残さず食べる指導に加えて「決められた時間内に食べ始め、食べ終わる」を意識してきたことが結果につながっていると思われます。さらに、教師間の共通理解をはかり、食育を推進していこうと思います。

５，開かれた学校づくり

⑩学校であったことを家の人とよく話しますか。(児童)78% 　子どもの話や学校からのおたより等で学校の様子が分かる。(保護者)93% 　おたよりや連絡帳等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。(教師)100%
教師の意識に比べて、保護者の評価はやや低くなっています。ホームページを少しリニューアルしたことの認知が低かったこともあるようなので、ホームページの閲覧方法のお便りを配布しました。 　昨年度の学校評価のご意見から導入した「メール配信」については、現在９０％の保護者の方々に加入して頂き、熊情報や悪天候など児童の安全に関わることを中心に情報発信を行っています。 　これからも、ホームページ・メール・学校便り・学年だよりなどを通じて、学習習慣や生活習慣の確立のための情報、学校の取り組みや児童の素敵な姿を、できるだけたくさんの保護者地域の皆さんに発信していきます。

◎学校関係者評価より

・「困ったことがあったら先生に相談できますか」という質問の児童評価がやや低いことについては、「学校で困ったことがあったら」と限定したらもっとはっきりと評価できるのではないか。中学校でもこの項目の評価は低い。鳥越地区の子供たちが恥ずかしがりやの面もあるが、小学校から困ったことがあれば先生に相談して良いのだという思いを持たせられるようになってほしい。

・文や図に書いて考えたり説明したりする力を育成していくことは、小中ともにつけていきたい力である。なかなか一朝一夕にはできないが、これからの取り組みで示されたように、「何を」「どのように」書く(説明する)といいのかを具体的に示すことが大切だと思うので頑張って取り組んでほしい。

・学力については、つまずきのある子に対する個別指導がとても大切。ぜひお願いしたい。（学校より）個別指導は重要視している。バス時間などの制約でいのこり学習は難しいので水曜日のチャレンジタイムを活用・工夫して個別指導をおこなっている。２学期も子どもたちの実態に合わせ取り組んでいきたい。

・家庭学習のてびきは、学習の習慣化においてよりどころになるものでとてもいい取り組みだと思う。

・自己肯定感を高める取り組みは保育園・中学校でも行っておりとても重要。保小中連携して取り組んでいくことで自分の思いを自信をもってしっかり伝えられる鳥越の子どもたちになってほしい。そのためにも職員の交流するような機会をつくっていってほしい。

・食育を重視しているのが良く分かった。とてもいい取り組みなのでこれからも続けていってほしい。